

Safety and Environment Center for Petroleum
Development

SEC ニュース

一般財団法人 エンジニアリング協会

石油開発環境安全センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19

(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL(03)5405-7205/FAX(03)5405-8201

URL: <http://www.ena.or.jp/SEC/>

第 97 号／2016. 4

- 平成 27 年度委員会・部会報告
 - ・ 第 2 回企画委員会
 - ・ 第 3 回企画技術部会
- 平成 27 年度 SEC の重点事業について
- 平成 28 年度 SEC の事務局体制について
- 会員の広場
 - ・ 講習会参加報告
- 会員の皆様へのお知らせ
 - ・ ENAA 研究成果発表会 2016 のお知らせ (予告)
 - ・ 石油開発環境安全センター 25 周年のお知らせ(予告)

■平成 27 年度 委員会・部会 報告■

□第 2 回企画委員会

日時：平成 28 年 3 月 11 日(金) 16:00～17:35

議事：前野専務理事より開会の挨拶ののち福島委員長の議事進行により議事次第に従い、報告事項の説明が各担当者よりなされた。

(1) 平成 27 年度企画技術部会活動概要と平成 28 年度活動計画について報告がなされた。

【報告】

①「資源分科会」

②「環境・エネルギー分科会」

(2) 平成 27 年度受託事業活動概要および平成 28 年度事業実行計画について報告がなされた。

【報告】

①大水深海底鉱山保安対策調査(平成 27 年度事業概要)

(3) 平成 28 年度事業計画(案)について事務局より説明がなされ、了承された。【審議項目 1】

(4) 平成 28 年度受託事業計画(案)について事務局より説明がなされ、了承された。

【審議項目 2】

①メタンハイドレート開発に係る海洋生態系への影響評価のための基礎研究
(平成 27 年度事業概要、平成 28 年度事業実行計画)

②SEC 新規事業(案)について

(5) 平成 28 年度予算(案)について事務局より説明がなされ、了承された。【審議項目 2】

□第3回企画技術部会

日時：平成28年3月4日(金) 16:00～17:30

議事：山田所長の挨拶ののち中村部会長の議事進行により(1)～(3)の報告事項、審議事項の説明が各担当者よりなされた。

(1)平成27年度企画技術部会活動概要と平成28年度活動計画について報告がなされた。【報告】

- ①「資源分科会」
- ②「環境・エネルギー分科会」

(2)平成27年度受託事業活動概要および平成28年度事業実行計画について報告がなされた。

【報告】

- ①大水深海底鉱山保安対策調査

(3)平成28年度事業計画(案)について事務局より説明がなされ、了承された。【審議項目1】

- ①メタンハイドレート開発に係る海洋生態系への影響評価のための基礎研究
(平成27年度事業概要、平成28年度事業実行計画)

■平成27年度SECの重点事業について ■

1) 受託事業：

- ①メタンハイドレート開発環境影響評価事業
- ②大水深海底鉱山保安対策調査事業

2) 資源分科会、環境・エネルギー分科会にて講演会を開催いたしました。

資源分科会

- ①講演：「掘削技術開発の最近の動向」 講師：長縄委員長
- ②講演：「Challenges and Risks of Deepwater Development, focusing on SURF (Subsea, Umbilical, Riser, Flowline)」

講師：千代田化工建設(株)

Mr.Elliot P McDonald 氏

環境・エネルギー分科会

- ①講演：「CCSについて」 講師：経済産業省 川端課長補佐
- ②講演：「ガスシステム改革について」： 講師：経済産業省 石井課長補佐
- ③講演：「石炭利用技術について」 講師：経済産業省 榎本課長補佐
- ④講演：「再生可能エネルギー・省エネルギーの現状と課題」
講師：経済産業省 日暮課長補佐

■平成28年度SECの事務局体制について ■

4月1日付けでSECメンバーの異動がありました。

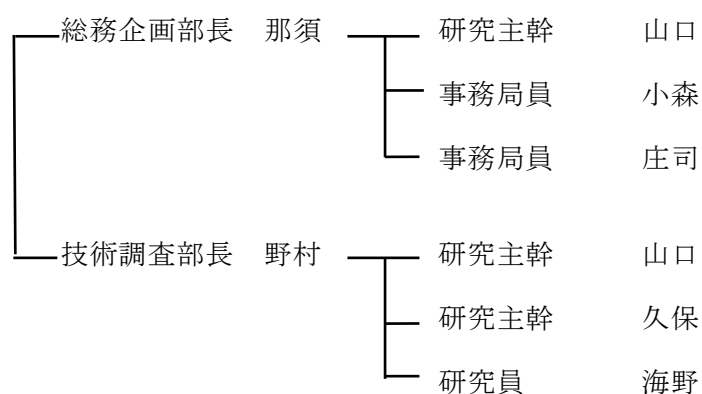
新たな体制の下でエンジニアリング産業の発展のために努力してまいりますので、皆様のご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

1. 新任 技術調査部長 野村和男 国際石油開発帝石㈱より
2. 退任 技術調査部長 高橋康夫 国際石油開発帝石㈱へ復職

《体制図》

石油開発環境安全センター

所 長 山田



《ご挨拶》

□退任の挨拶

・高橋 康夫

この度、4月1日付で出向元である国際石油開発帝石㈱に復職いたしました。SEC在職中は皆様に大変お世話になりました。特に平成25年度はJKAのシェールガス事業で分科会の皆様に原稿作成でご尽力頂き、また26年度27年度には、METI受託の大水深保安対策調査やJOGMEC受託のメタンハイドレート環境影響基礎研究において、委託元はもちろんのこと、委員会委員各位、客員研究員、分室員、再委託先、その他多くの方にご指導、ご尽力をいただきました。改めて感謝申し上げます。復職後も赤坂本社に勤務しておりますので、ご用の節はお気軽にお声掛けください。今後ともよろしくお願い申し上げます。

□新任の挨拶

・野村 和男

本年4月1日付にて国際石油開発帝石㈱より出向してまいりました。これまで出向元では主に国内における油ガス生産施設の建設および保全、並びに一般営繕関連に携わってきました。これからは会員各位のご意見を賜りながら、ENAA/SECの立場で皆様のお役に立てるよう邁進してまいりたいと考えております。ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■会員の広場■(参加した講演会、学会、シンポジウム等)

【講習会：「メタンハイドレートの現状と海洋産業への展開」参加報告】

平成 28 年 3 月 25 日（金）、京都大学 国際科学イノベーション棟シンポジウムホールにて京都府が主催する『メタンハイドレートの現状と海洋産業への展開』を聴講し、貴重な情報を収集いたしました。概要は次のとおりです。

1. 主催者挨拶：日本海連合の会長として表層型 MH に焦点を当てシンポを主催
2. 基調講演：経済産業省 溝田課長補佐
 - ・平成 25 年度から 3 年間かけて行われた日本海側の表層型 MH の調査結果が報告された。秋田沖、上越沖、壱岐周辺を中心に説明され、最後に MH の技術開発や調査技術は我が国が進んでいることを強調して結ばれた。
3. パネルディスカッション
 - ・山野 澄雄 氏（株式会社フグロジャパン）
 - ・横田 哲也 氏（日本海洋事業株式会社）
 - ・後藤 忠徳 氏（京都大学大学院工学研究科 准教授）
 - ・藤井 哲哉 氏（独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構）
 - 【モデレーター】
 - ・青野 雅和 氏（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）

【 最初 各 15 分プレゼン 】

- ・フグロジャパン：メキシコ湾にて大規模調査 3D ガス徴報告紹介
- ・日本海洋事業：ROV 動向紹介
- ・後藤准教授：簡易 MH 調査法（電気抵抗）紹介
- ・JOGMEC：砂層型 MH の開発動向紹介

【 質 疑 】

- ・海洋産業として議論できていないのでは？ ⇒ 現在はまだ調査等の技術、新しい探査の議論が中心。
- ・MH は官需中心 民需にならないのでは？ ⇒ まだ研究開発の時期である。
- ・本当に産業になるか？ ⇒ 調査事業の可能性は大。現在 22 社 130 億円売上が今後はもっと伸びる。
- ・産業の意義？ ⇒ 海洋国家としての意義はある。しかし、生産まで一貫してやらないと産業を育成する文化にはならない。

以下、一般参加

- ・MH は国民に説明されていない報道も乏しい ⇒ オープンな委員会が開催されるので一般の人参加可能である。
- ・原始起源の MH は？ ⇒ 砂層型では微生物起源と熱変成を起源としている。
- ・グリーンタフも対象ではないか？ ⇒ そこまでは遡れない。
- ・メタンの温室効果は CO2 の 21 倍。水温上昇の影響で MH が安定せずメタンが出ることは無いのか？ ⇒ 現状、それは報告されていない。

- ・メタンとヘリウムは並存する。ヘリウムも PR すべきでは？ ⇒ 別途検討したい。

(記：山口 隆志)

■会員の皆様へのお知らせ■

□E N A A 研究成果発表会 2016 のお知らせ（予告）

ENAA 研究成果発表会 2016 を 7 月 4 日(月) E N A A 本部、5 日(火)石油センター／地下センターで 2 日間を予定しております。詳細は決定次第 E N A A H P に掲載いたします。

□石油開発環境安全センター 25 周年のお知らせ（予告）

今秋、石油開発環境安全センターは皆様のご協力を得て 25 周年を迎えます。

詳細は追って H P にてお知らせいたします。



2016 年度がスタートしました。石油センターは今秋、25 周年を迎えます。会員の皆様のご協力でここまで活動できましたことに心より感謝申し上げます。これからも新たな気持で事務局一同力を合わせ活動してまいりますので、引き続き皆様のご指導ご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

